

て か 手を 貸そう

たがいに ^{おも}に 重荷を
^お ^あ 負い合いなさい。
(ガラテヤ人への ^て ^{がみ} 手紙 6:2、
^{こう} ^ご ^{やく} ^{せい} ^{しよ} 口語訳聖書)





きみ も あ
君が 持ち上げられないくらい
おも もの も あ
重い物を 持ち上げようとして
いた 時に、だれかが 来て
てつだ
手伝ってくれた ことって、ある？
きっと、その時は てつだ
もらえて、うれしかっただろうね。



カカヤ
輝く小石

て か
32:手を 貸そう

いちにち あいだ
1日の間にわたしたちは、わたしたちの
てつだ ひつよう ひと み
手伝いを必要としている人を見かける
だろう。そして、できるときはいつでも手伝って
あげるべきなんだ。てつだ
手伝うことによって、
わたしたちは しんせつ おも あらわ
親切や思いやりを表している
ことになるんだよ。ほかのひと たす
人の助けになる
ために大切なことは、ゆうこうてき
友好的でていねいな
はな かた
話し方をすることだ。

イエスさま
様は、ほかのひとたちを たす よい
お手本だった。イエスさま
は、時間を かけて
ひとびと たす
人々を助けたもののね。



イエス様は、ほかの^{ひと}人たちがきらっていた^{ひと}人たちと^{とも}友だちになった。
かな^{ひと}悲しんでいる人たちを^{しあわ}幸せにしてあげた。わたしたちも、^{おな}同じことが
できるんだよ！



だれかを^{たす}助けるのは、かんたんなことじゃないかもしれない。そのために、
^{じぶん}自分のしたいことをやめなければならないかもしれない。たとえそれが
むずかしくても、^{てつだ}手伝うのは^{たいせつ}大切なことだよ。





やってみよう

パパや ママや ^{とも}友だちに、
^{なに}何か ^{てつだ}手伝える ことがあるか、
^き聞いてみよう。そして、^て手を
^か貸してあげてね。ちょっとした
^{てつだ}お手伝いでも、ちがいを
もたらすよ。



文：カチューシャ・ジュスティ 絵：サビーン・リッチ デザイン：クリスティア・コーブランド
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2011 年、ファミリーインターナショナル
"Lend a Hand" -- Japanese <http://www.mywonderstudio.com/0-5/tag/japanese>

